

令和5年度 学校経営計画

1 学校教育目標【校訓：みんな 仲よく 力いっぱい】

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育てる

＜めざす児童像＞ 進んで学ぶ子（知） 心豊かな子（徳） 力いっぱいがんばる子（体）

Happy Hatcho＜笑顔あふれる素敵な学校＞

～温かさと厳しさの中で心と体の成長を～

「自分・仲間・家族・地域を大切にし、

さまざまな場面で個性を遺憾なく発揮する八町っ子を育みます」

2 学校経営の方針＜中期目標＞

- ①自分に適した学び方を培い、活用できる確かな学力を育成する。
- ②豊かな心とよい人間関係を築く力を育成する。
- ③体力向上を心がけ、健康・安全に留意する意識・習慣づけを図る。
- ④専門性・組織力を備え、目標達成のために心一つにして進む教職員集団となる。
- ⑤家庭・地域から信頼され、地域と連携した教育活動を展開する。

3 重点努力目標＜短期目標＞

- ①自分に適した学び方を培い、活用できる確かな学力を育成する。

重点努力目標（評価項目）		＜評価指標＞
・基礎基本の定着 （学習内容および学 び方）	・「読み、書き、計算」を中心に、基 礎基本の徹底を図る。 ・家庭学習含めた個別最適な学びの充実	・力だめし等指導方法の工夫改善の進捗 ・全国学力・学習状況調査からの分析 ・個別課題（宿題）のあり方改善の進捗
・「外国語・外国語活 動」「イメージ教育 」の研究推進	・これまでの教材等蓄積の評価、改 善と授業方法の進展、さらには持続 可能な体制の構築を図る。	・蓄積教材の使用可能度の評価、改善進捗 ・授業観察及び授業後の振り返りの内容 ・「イメージ教育」の学校全体への波及
・通常授業における 「主体的・対話的で深 い学び」の研究推進	・教員の働き方改革と並進できる、 子どもの興味・関心を喚起する問題 解決的な授業づくりの研究、推進、 実践を行う。	・意欲喚起への一手と自分の考えをもつ工夫 ・授業改善のための八町型授業案改善推進の進捗 ・授業観察及び授業後の振り返りの内容 ・各種調査（全国学テ等々）からの分析

- ②豊かな心とよい人間関係を築く力を育成する。

重点努力目標（評価項目）		＜評価指標＞
・教職員自身の well- being の実践と温か な学級集団づくり	・教職員自身を含めた自己肯定感を 高める取り組みや意識改革をし、一 人一人を大切にする温かな学級づ くりに取り組む。	・生活アンケート「ほっとハート」の内容 ・日常の学校生活の様子（面談等より） ・教育相談、放課後子供教室等支援員等から の情報
・道徳教育の充実	・道徳の時間の確保と教師の指導技 術の向上に努める。	・道徳授業研究の推進の進捗 ・授業観察及び授業後の振り返りの内容
・異年齢集団、地域交 流等の活性化	・たてわり活動の充実、地域の方々 等との交流を企画する。	・たてわり活動の充実 ・特色あるカリキュラムの作成の進捗

③体力向上を心がけ、健康・安全に留意する意識・習慣づけを図る。

重点努力目標（評価項目）		＜評価指標＞
・運動習慣、体力づくり、けが防止	・年間を通して、体を動かし鍛える機会を工夫し、授業や教育課程に位置づけ、計画的に実施する。	・指導の工夫改善の進度 ・体育授業、運動会練習、ランランチャレンジ、たてわり活動、放課等日常生活の様子
・安全意識の高揚と自分の命を守る実践力の向上	・子どもの安全意識の高揚を図り、事故や大きなけがの防止に努める。	・毎日、毎月の安全点検、交通安全立哨と通学路点検等 ・「豊橋・学校いのちの日」、学級活動の様子
・より健やかで安全な生活習慣の確立	・「あしたもははは」を柱に、健康に留意した、規則正しい生活習慣を身につけさせる。	・学校保健委員会等における振り返り内容 ・日常の保健活動の様子 ・安全に関する予防的行動と事後対応

④専門性・組織力を備え、目標達成のために心一つにして進む教職員集団となる。

重点努力目標（評価項目）		＜評価指標＞
・教職員の指導力、授業力の向上	・教職員研修、校内および先進校授業参観の充実と教職員の意識向上に努め、力量向上を図る。	・互いの校内授業参観、ミニ現研等々の日常的研修（OJT）の充実 ・授業研究、伝達講習、実技研修の充実
・一人一人を生かす（活躍させる）授業等の教育活動	・子どもが個性を発揮し、子どもの活躍の機会、自己決定の機会を増やし、自己肯定感を高める	・子どもが活躍する授業方法の確立 ・発達段階に応じた子どもの立案や運営参画 ・教職員による適切な支援と承認、称賛
・風通しのよい職場と教職員の共通理解	・通常、イマージョン教育コースの相互理解、教育活動、行事の趣旨、実施方法の共通理解。	・掲示板等の活用、日常会話の推進 ・学校づくり、学校運営への参画 ・報告、連絡、相談、確認の徹底

⑤家庭・地域から信頼され、地域と連携した教育活動を展開する。

重点努力目標（評価項目）		＜評価指標＞
・学校からの情報発信	・学校の方針や情報を保護者や地域に適切に発信する。「学校だより、学級・学年通信」「学びポケット」「ホームページの学校日記」「メール配信」の活用の工夫と充実。	・保護者との日々の報告・連絡・相談・確認 ・PTA役員会・委員会、学年懇談会、各種説明会等を通じた、保護者や地域への情報発信、来校者との日常会話での情報交換 ・ホームページ等の充実と更新体制
・コミュニティ・スクールの起ち上げと推進による地域と共にある学校づくりの推進	・学校運営協議会の組織と運営 ・地域コーディネーターの配置と「八町サポーター」への展開 ・コミュニティ・スクールで生きる特色ある学校づくりへのカリキュラムの一層の推進とPDCA	・「八町サポーター」への登録の進度 ・英語検定準会場への取り組み進度 ・授業の見守り、登下校の見守りなど「地域学校協働活動」の進度 ・PDCAサイクルの職員用年間計画への位置づけ ・学校評価による評価

令和５年度 学校評価 児童・保護者・教職員アンケート結果

1 はじめに

保護者の皆様には、本校の教育活動に対するアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。学校評価は、学校教育目標の実現に向け、教育活動がどれだけ有効に行われたかを幅広い角度から見直し、学校運営の改善を図るために行うものです。

また、その結果を公表していくことで、学校としての説明責任を果たすとともに、課題克服に向け、学校と関わる人々との協働体制をより強化したいと考えています。本年度から設置された学校運営協議会の方には、この結果をもとに来年度の方向性についてご提言をいただきます。

今後もより質の高い教育を目ざして努力していきます。本校の取り組みに関心を深めていただき、より多くの方からのご意見をお待ちしております。

2 集計結果とその考察

集計結果及び考察を、次頁のようにまとめましたので、ご報告いたします。

保護者のアンケート集計では、大部分の項目で「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計（肯定群）が約８０％の評価をいただきました。本校の取り組みに対して、一定のご理解・ご支持をいただいていると考えています。評価の低い項目や「記述アンケート」に書かれたご意見も踏まえながら、令和６年度の計画づくりに反映させていきたいと考えています。【アンケート回収率 約９６．４％】

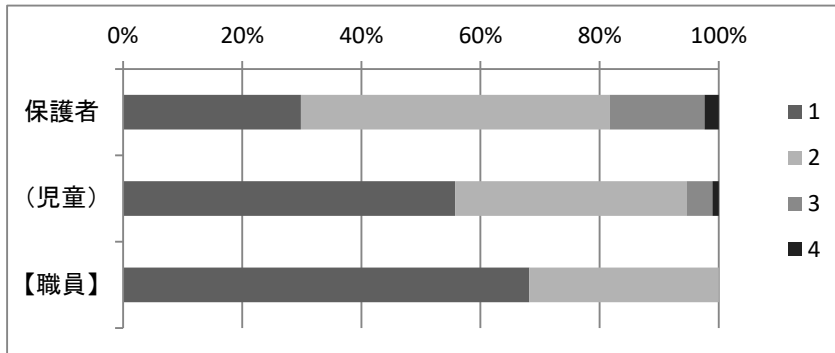
1 自分に適した学び方を培い、活用できる確かな学力を育成する。

設問1

子どもたち(私)は、読み・書き・計算などの繰り返し学習に意欲的に取り組み、基礎的な力を身につけている。【基礎学力の定着に取り組んでいる。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	29.8%	55.8%	68.2%
2	51.9%	38.8%	31.8%
3	15.9%	4.3%	0.0%
4	2.4%	1.1%	0.0%

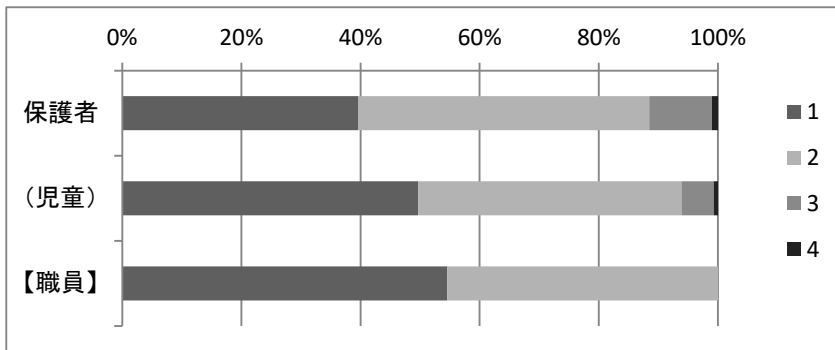
- 1 よくあてはまる (とてもよい)
- 2 ややあてはまる (まあまあよい)
- 3 あまりあてはまらない (あまりよくない)
- 4 まったくあてはまらない (ぜんぜんよくない)



設問2

子どもたち(私)は、いろいろな教科の授業を楽しく受けている。【楽しい授業づくりを行っている。】

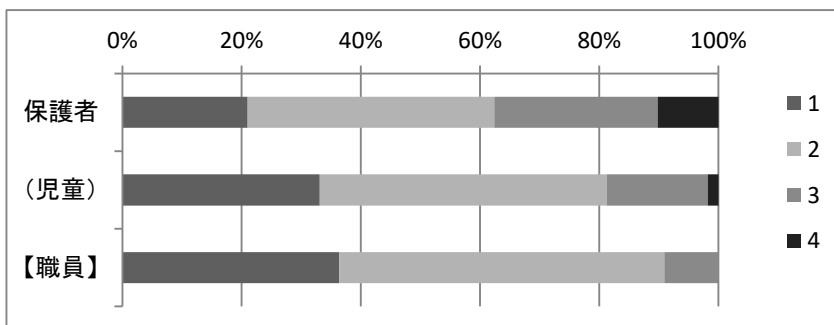
	保護者	(児童)	【職員】
1	39.7%	49.6%	54.5%
2	48.8%	44.2%	45.5%
3	10.5%	5.4%	0.0%
4	1.0%	0.7%	0.0%



設問3

子どもたち(私)は、自らすすんで家庭学習に取り組んでいる。【すすんで家庭学習に取り組む子どもを育成している。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	21.0%	33.1%	36.4%
2	41.4%	48.2%	54.5%
3	27.5%	16.9%	9.1%
4	10.2%	1.8%	0.0%

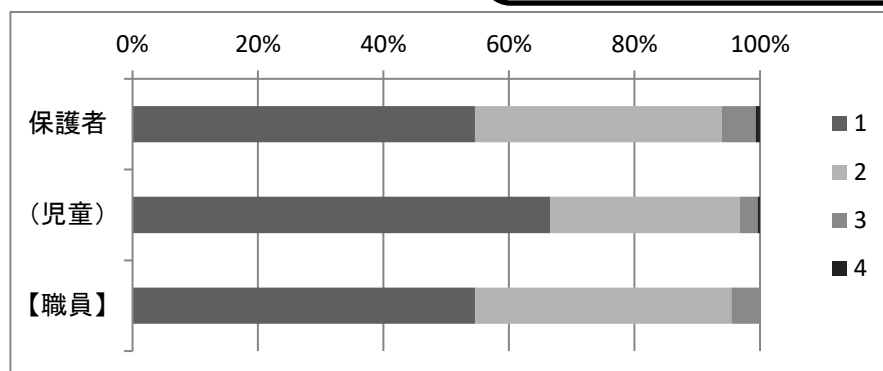


設問4

学校は、地域の特性や人材を活かし、体験活動を積極的に取り入れた授業づくりに取り組んでいる。

	保護者	(児童)	【職員】
1	54.6%	66.5%	54.5%
2	39.3%	30.2%	40.9%
3	5.4%	2.9%	4.5%
4	0.7%	0.4%	0.0%

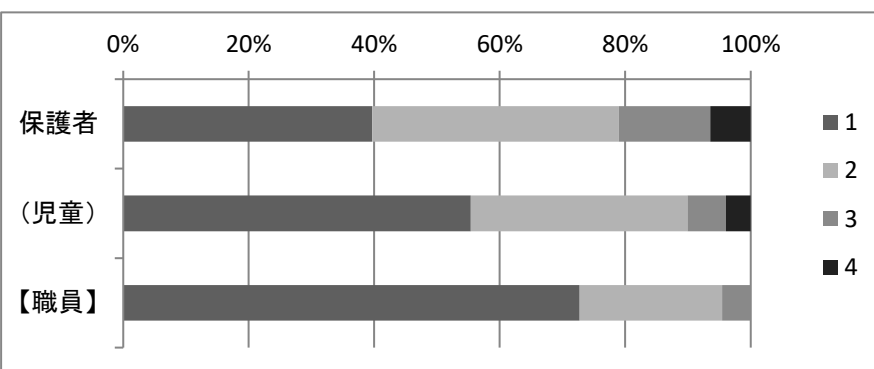
- 1 よくあてはまる（とてもよい）
- 2 ややあてはまる（まあまあよい）
- 3 あまりあてはまらない（あまりよくない）
- 4 まったくあてはまらない（ぜんぜんよくない）



設問5

子どもたち(私)は、英語を使って授業を受けたり、外国人の先生とコミュニケーションしたりすることを楽しんでいる。【英語教育の推進に取り組んでいる。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	39.7%	55.4%	72.7%
2	39.3%	34.5%	22.7%
3	14.6%	6.1%	4.5%
4	6.4%	4.0%	0.0%



<考察>

設問3の「家庭学習の取り組み」では、子どもは「やってる」、一方で親は「十分ではない」と感じるなど、よく家庭で見られる光景が数字となって表れています。本年度から「宿題」という形ではなく、自分に合った方法で取り組む「家庭学習」に変わったことも少なからず影響をしていると思われます。学校としては、まさに重点努力目標の一つである「自分に適した学び方を培う」ことができるように今後も力を入れていきます。ご家庭においても、お子さんの実態にあった支援をしていただけるようご協力をお願いします。

設問5の「英語教育の推進」では、各学年にネイティブの先生が1名常駐する環境を生かして、「English Time」や英語の授業の充実を図ってきていることが表れた結果となっています。「グローバル社会での活躍」は今後ますます重要になってきます。恵まれた教育環境を生かし、今後も力を入れていきたい項目の一つです。

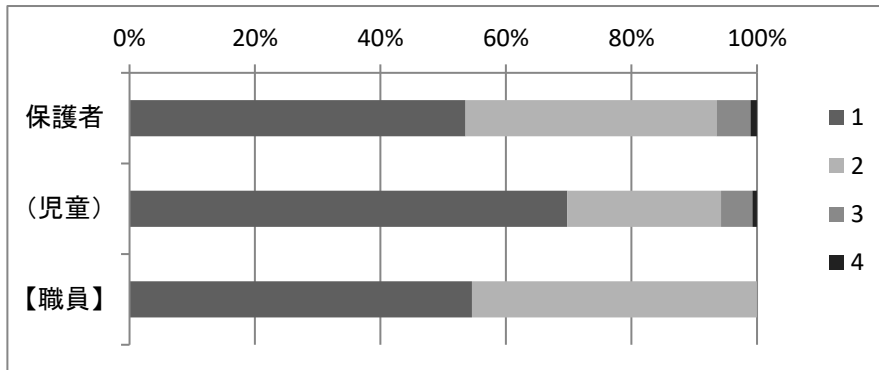
2 豊かな心とよい人間関係を築く力を育成する。

設問6

子どもたち(私)は、いろいろな友達と仲よく遊んだり、協力して活動したりしている。
【仲よく遊んだり、協力できるように配慮している。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	53.6%	69.8%	54.5%
2	40.0%	24.5%	45.5%
3	5.4%	5.0%	0.0%
4	1.0%	0.7%	0.0%

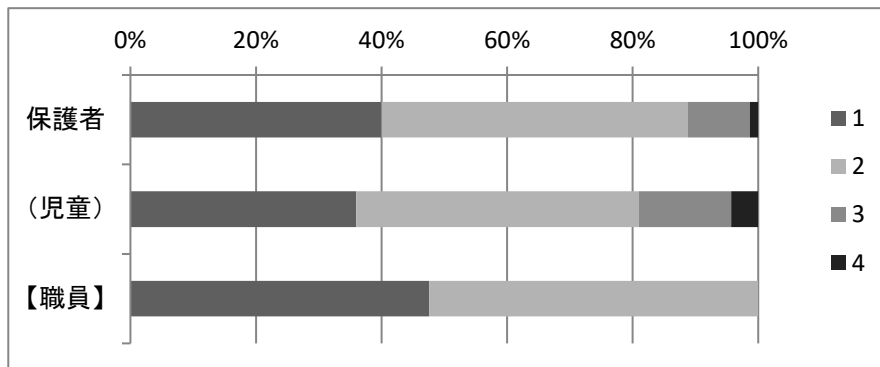
- 1 よくあてはまる（とてもよい）
- 2 ややあてはまる（まあまあよい）
- 3 あまりあてはまらない（あまりよくない）
- 4 まったくあてはまらない（ぜんぜんよくない）



設問7

学校は、感謝の気持ちや命を大切にするなど、豊かな心を育む教育を推進している。

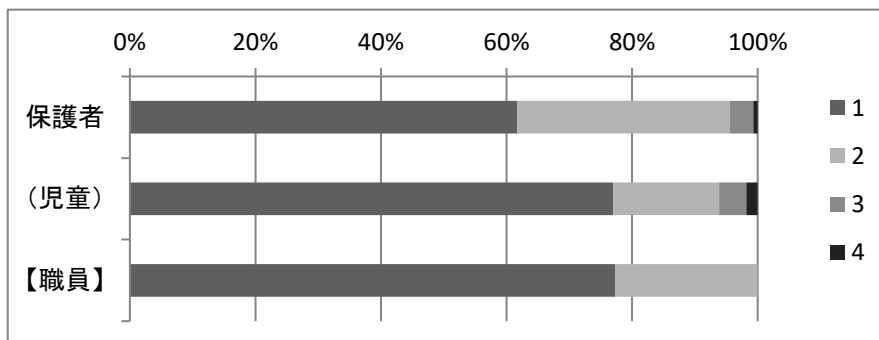
	保護者	(児童)	【職員】
1	40.0%	36.0%	47.6%
2	48.8%	45.0%	52.4%
3	9.8%	14.7%	0.0%
4	1.4%	4.3%	0.0%



設問8

学校は、たてわり活動や行事などの異年齢学年集団活動を取り入れた仲間づくりに努めている。

	保護者	(児童)	【職員】
1	61.7%	77.0%	77.3%
2	33.9%	16.9%	22.7%
3	3.7%	4.3%	0.0%
4	0.7%	1.8%	0.0%

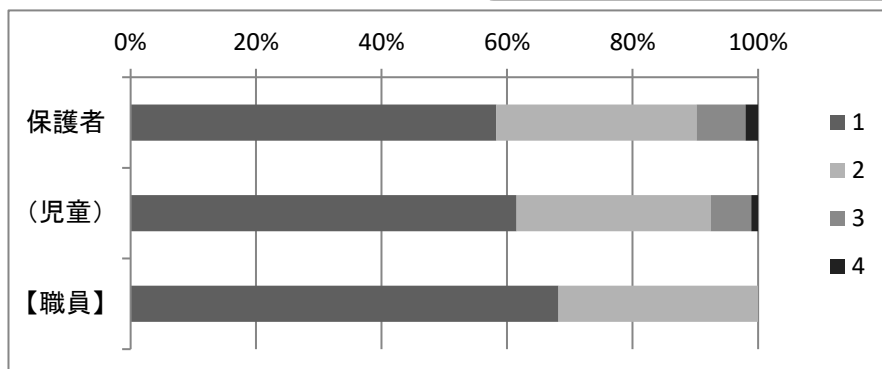


設問9

子どもたち(私)は、楽しく学校に通っている。【楽しい学校、温かい学級づくりに努めている。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	58.3%	61.5%	68.2%
2	31.9%	30.9%	31.8%
3	7.8%	6.5%	0.0%
4	2.0%	1.1%	0.0%

- 1 よくあてはまる (とてもよい)
- 2 ややあてはまる (まあまあよい)
- 3 あまりあてはまらない (あまりよくない)
- 4 まったくあてはまらない (ぜんぜんよくない)



< 考察 >

9割を超える児童が「友達と協力することが楽しい」「たのしく学校に通っている」と回答しており、これは全国学力学習状況調査と比較してもかなり高い回答率となっています。学級、学年においては温かい集団づくりを目ざし、そして、委員会やボランティア活動などを推進し、本校の児童の長所をさらに伸ばしていきます。

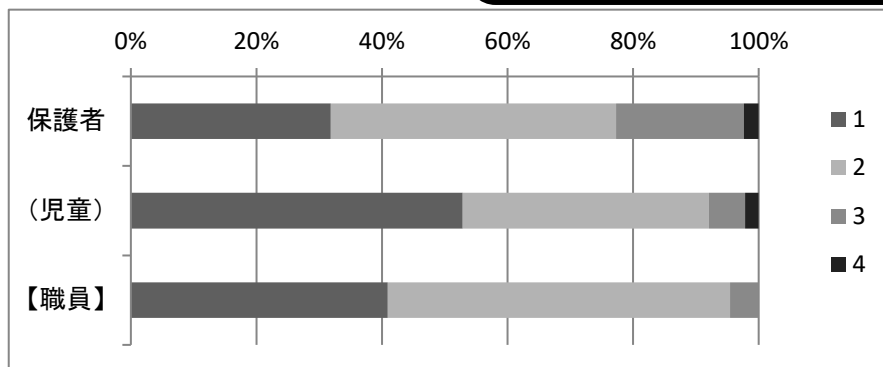
また、本校が長年にわたって大切にしている異学年交流、いわゆる「たてわり活動」の充実も学校生活を有意義なものにしている要因の一つであると捉えています。上級生のすばらしい取り組みが、下級生への「あんなお兄さんやお姉さんになりたい」というよい刺激となっていることは言うまでもありません。このよい循環が続くように支援を続けていきます。

3 体力向上を心がけ、健康・安全に留意する意識・習慣づけを図る。

設問10 学校は、子どもたちの運動習慣の育成や体力の向上に取り組んでいる。

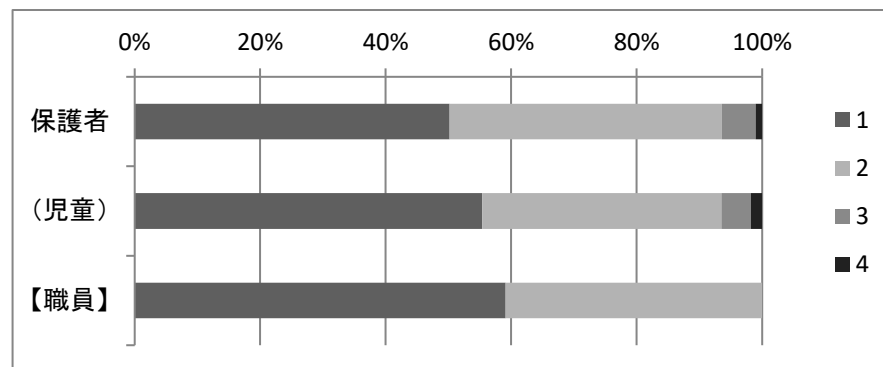
	保護者	(児童)	【職員】
1	31.9%	52.9%	40.9%
2	45.4%	39.2%	54.5%
3	20.3%	5.8%	4.5%
4	2.4%	2.2%	0.0%

- 1 よくあてはまる（とてもよい）
- 2 ややあてはまる（まあまあよい）
- 3 あまりあてはまらない（あまりよくない）
- 4 まったくあてはまらない（ぜんぜんよくない）



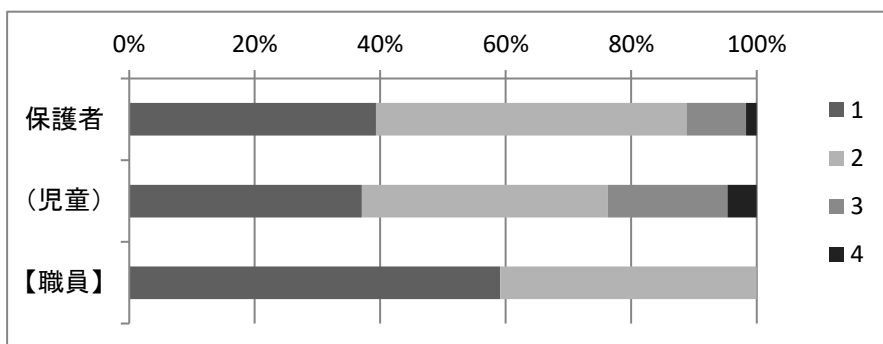
設問11 学校は、子どもたちにとって快適で安全に過ごすための施設や設備の改善に努めている。

	保護者	(児童)	【職員】
1	50.2%	55.4%	59.1%
2	43.4%	38.1%	40.9%
3	5.4%	4.7%	0.0%
4	1.0%	1.8%	0.0%



設問12 お子さん(私)は、健康に留意し、規則正しい生活習慣を身につけている。【健康や規則正しい生活を身につける子どもを育成している。】

	保護者	(児童)	【職員】
1	39.3%	37.1%	59.1%
2	49.5%	39.2%	40.9%
3	9.5%	19.1%	0.0%
4	1.7%	4.7%	0.0%



<考察>

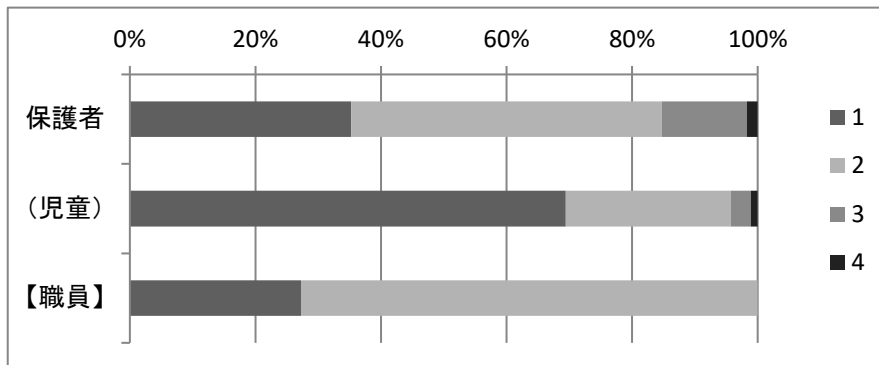
設問12の「規則正しい生活習慣」においては、自分自身に厳しい回答をしている子もいることがうかがえます。裏を返せば、そんな自分に気づいているとも言えます。学校保健委員会等を充実し、学んだことを実践できる子を育てていきます。ご家庭でもご支援、ご協力をお願いします。

4 専門性・組織力を備え、目標達成のために心一つにして進む教師集団となる。

設問13 学校は、わかりやすく、学ぶ楽しさや喜びを実感できる授業をおこなっている。

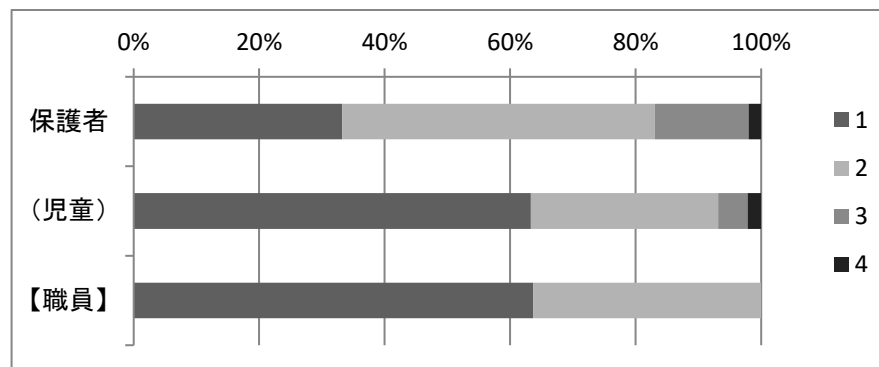
	保護者	(児童)	【職員】
1	35.3%	69.4%	27.3%
2	49.5%	26.3%	72.7%
3	13.6%	3.2%	0.0%
4	1.7%	1.1%	0.0%

- 1 よくあてはまる（とてもよい）
- 2 ややあてはまる（まあまあよい）
- 3 あまりあてはまらない（あまりよくない）
- 4 まったくあてはまらない（ぜんぜんよくない）



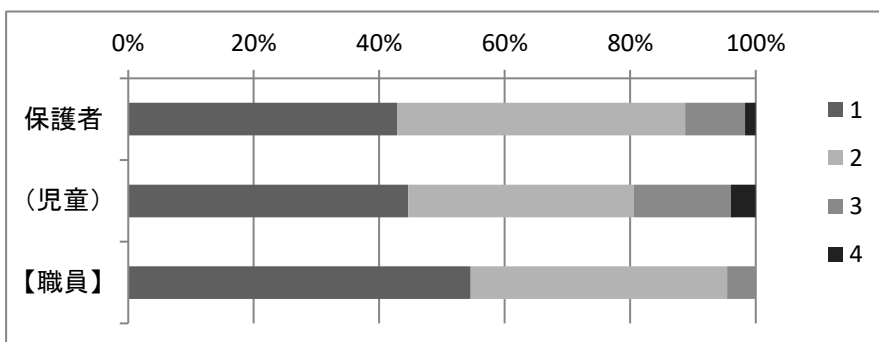
設問14 学校は、子ども一人一人に寄り添い、考えや思いを大切にしている。

	保護者	(児童)	【職員】
1	33.2%	63.3%	63.6%
2	49.8%	29.9%	36.4%
3	14.9%	4.7%	0.0%
4	2.0%	2.2%	0.0%



設問15 学校は、保護者からの相談や要望に適切に対応してくれる。（気軽に相談できる先生がいる）

	保護者	(児童)	【職員】
1	42.9%	44.6%	54.5%
2	45.9%	36.0%	40.9%
3	9.5%	15.5%	4.5%
4	1.7%	4.0%	0.0%



< 考察 >

設問15の「相談や要望への対応」について、「相談しづらい」と感じている児童が一定数いることがわかります。保護者、地域の方々、また、関係機関と連携を図りながら、子どもたちにとって相談できる大人の窓口を増やしていきたいと考えています。

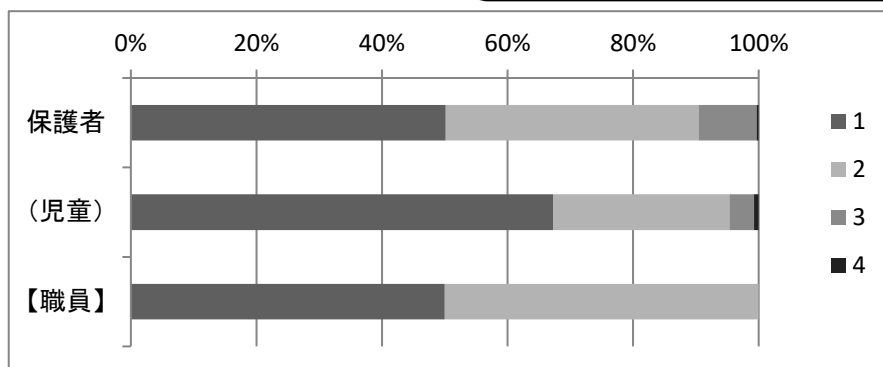
5 家庭・地域から信頼され、地域と連携した教育活動を展開する。

設問16

学校は、学校新聞、ホームページ、メール配信を通じて、適切に学校の情報を提供してくれている。

	保護者	(児童)	【職員】
1	50.2%	67.3%	50.0%
2	40.3%	28.1%	50.0%
3	9.2%	4.0%	0.0%
4	0.3%	0.7%	0.0%

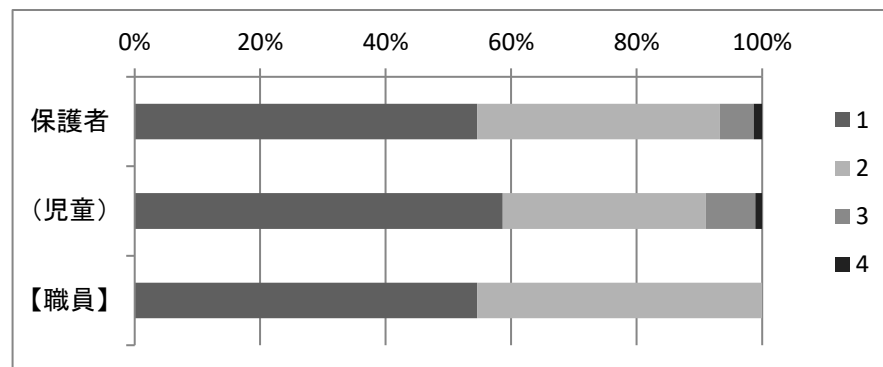
- 1 よくあてはまる（とてもよい）
- 2 ややあてはまる（まあまあよい）
- 3 あまりあてはまらない（あまりよくない）
- 4 まったくあてはまらない（ぜんぜんよくない）



設問17

学校は、地域とともにある魅力ある学校づくりを進めている。

	保護者	(児童)	【職員】
1	54.6%	58.6%	54.5%
2	38.6%	32.4%	45.5%
3	5.4%	7.9%	0.0%
4	1.4%	1.1%	0.0%



< 考察 >

今年度から八町小は、コミュニティ・スクールになりました。言い換えると「地域とともにある学校」ということです。従来より、八町校区は学校に関わってくださるボランティア団体も多く、これまでも地域のみなさんに支えられてきました。そうした、地域の実態が表れた結果となっています。今後は、八町サポーター（学校教育活動を支えてくださるボランティアの方）をさらに増やし、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てる風土を定着させていきたいです。

令和5年度 学校評価 保護者の声（アンケートより一部抜粋）

【学習活動、体験的活動、家庭学習等について】

- 宿題が自主勉強になってから、明らかに漢字を覚えられていません。面倒だからと感じる漢字の書き取りには自主的に取り組みたがりません。「読み書き計算」は以前のように強制的な宿題で取り組ませていただきたいと思います。自主学習になってから学力が低下しているように感じています。
- 宿題は自由意思の選択になったと聞いたが本当にそうだったのでしょか。
- 1年生の1学期から力だめしで目標点を決めるように指導されていて驚きました。まだ、文字を書くことを楽しんだり、一生懸命に取り組んだりする時期に、目標がよい点をとることだと暗に示されて、残念です。点数の目標はせめて高学年からにしてほしいです。
- 包括的性教育について、1年から6年まで段階的に学んでいける機会を作ってください。
- 性犯罪のニュースを見ると心が痛みます。地域一丸となって、早くからの性教育に取り組ましましょう。
- 子どもに寄り添っていただき大変感謝しています。ありがとうございます。
- 今年卒業します。よりよい取り組みにいつも先生たちには本当に感謝しています。ありがとうございました。

今年度から全員一斉に与えられる「宿題」という形から、自分に合った方法で取り組む「家庭学習」に変わったということで、その点についてご意見をたくさんいただきました。現在の学習指導要領では「個に応じた指導」の充実を図ることが求められており、「個別最適な学び」はそれを実現するための学びの形だとされています。「個別最適な学び」とは、学習者一人一人の特性や到達度に応じて、指導する側が学習環境を整えたり、学習方法の選択肢を柔軟に用意したりすることです。一人一台のタブレットが国から配付されたことが「個別最適な学び」の一つの例です。したがって、一律の学習課題（宿題）を与えるのではなく、個に応じた学びを充実させることが大切であると学校としては考えています。実際に今年度の「力だめし」の結果を見ても、結果が悪くなっているということは決してありません。ご家庭におかれましても、お子さんの学習状況を把握し、お子さんの学びに合った支援をお願いします。

性教育については、系統的に計画・実施していますが、一部の保護者の方々が感じる切実感についても、国や他校の動向を踏まえたうえで、カリキュラムの検討を図ってまいります。また、本年度は、PTA研修会という形でまずは保護者向けの講演会を予定しています。

【学校行事やその内容等について】

- 運動会の競技前の整列について、炎天下だったら命に関わることになると思います。「立派にやっていることを見せる」ための時間は子どもたちにとって何の学びになっているか一度考えていただきたいと思います。同じく、学習発表会も見せるための練習になって、本番を迎えているように感じます。

- ・ 運動会について、チームの分け方を検討してほしいです。縦割り活動は素晴らしいですが、運動会の5月では仲よくなれるはずもなく、仲よくない人たちでは盛り上がりません。観覧している親も今のやり方ではわが子がどこにいるか見つけるのが難しいです。
- ・ 学習発表会は子どもたちが考えたものの方が、学びがあるのではないかと。結果ではなくもっと過程を充実させる方法の模索をしてほしい。
- ・ マラソン大会について1年から6年まで同じ距離でタイムを縮めていく、自分の成長を自分自身で感じられる機会にしたらどうかと子どもから提案がありました。
- ・ ふだんの学校の様子が知りたいです。授業参観だけでなく、もっと学校を開放して、いつでものぞけるようにしてもらいたいです。
- ・ 今年度は春に担任の先生から、学級経営の話がなく、また同じクラスの保護者と顔を合わせる機会がなく残念でした。
- ・ 遠足という行事はないのでしょうか。
- ・ 行事など学校での生活の記録（写真など）、お手紙やeメッセージなどを利用してのせていただけるとうれしい。

青空フェスティバル（運動会）、ハッピー八町ステージ（学習発表会）、マラソン大会については、いただいた意見や職員の反省をもとに、来年度のあり方や内容、その行事の目的や目標についても検討しています。ただ、多くの子どもたちはこうした行事を楽しみにしており、学校教育の活力の一つになっていることは間違いなく、子どもたちを成長につながるものであると考えています。

その他いただいた意見についても、全職員で共有し、来年度の教育計画、行事立案に生かしてまいります。

【安全、環境整備等について】

- ・ 通学路に危険を感じています。渋滞の抜け道として、歩道のない通学路を通行する車両があります。交通量が多いので事故対策をしていますが、非常に不安に思います。子どもたちが事故に遭わないように対策を希望します。
- ・ 豊橋駅からの市電通学で、朝豊橋公園の駅から信号を渡るとき、右折車、左折車が入ってくるので不安なときがあります。以前のように見守りをしていただけると助かります。

現在も、八町サポーター（校区自治会、老人クラブ等）による登下校の見守りや安全指導が行われています。八町サポーターが増えていくことで、子どもを守る大人の目が増えると考えます。保護者の八町サポーターへの参加も大歓迎です。お申し出ください。学校運営協議会でも話題にあげ、学校だけの問題ではなく地域全体の課題として、取り組んでまいります。

【その他】

- 水着に白い名札をつけなくてもよいのではと思います。他の施設で使えないです。白帽子にしっかりと名前があればよいのではないのでしょうか。
- ランドセルが重すぎるので、学校に物を置いていくようにしてほしい。
- 学年末に配布される算数の教科書を英語にしたものを自主学習での授業の復習ができるように单元ごとにその都度配布してほしい。（イマージョン学級）
- 体操服の長袖長ズボン、そして上着がどんどん指定のものが販売されるようになりました。どのような手順で決まったのでしょうか。PTA との話し合いはありましたか。指定の物でなくても、体を動かすのに適した服を自由に着ればよいと思います。指定の物は金額も高いし、時代にあっているようには思えません。
- 欠席する際の連絡帳を通学班の班長に届ける制度をやめてほしい。イマージョン校区外の通学ではとても不便です。今年から欠席連絡のメッセージが始まって便利に活用させてもらっています。アナログなシステムはこれから廃止してってください。
- 行事予定表などから何を学校でやっているのかは分かるが、どのような人が子どもたちと、どのようなことをやっているのか、学校からの情報がほとんどないため、今回のアンケートは答えにくかった。
- アンケート結果を公開するだけでなく、それをもとにした話し合う場を設けてほしい。
- ご意見、ご質問の欄も Web にしてほしい。
- 月間スケジュール（下校時刻）のメール配信がとても助かっています。
- いつも熱心にご指導いただき、大変感謝しています。ありがとうございます。

時代の変化とともに、学校も変わっていかなければならない部分もあります。e メッセージ（アプリ）を活用した、手紙の配信や欠席連絡、また今回の Web によるアンケートもその一つです。一方で便利さが生む弊害もしっかりと見極め、しっかりと時代の波に対応していきたいと考えています。

その他いただいた意見についても、全職員で共有し、よりよい指導・支援に生かしてまいります。

信頼される学校とは、情報をしっかりと発信、受信できる学校であると捉えています。そうした意味で、今回さまざまな声をいただき、まだまだ発信が不十分であること、そして、受信した意見をどのように反映させていくかが今後の課題であると切に感じました。たくさんのご意見をありがとうございました。